

学校運営委員会だより No 2

<第2回学校運営委員会報告>

1 日 時 令和7年6月6日（金） 10時00分～1時分

2 出席者 志賀、丸、月村、濱崎、山野、学校支援コーディネーター山崎、校長、副校長

3 内 容

（1）学校長挨拶

4月、5月乗り越えてきました。たくさんの方の支えがあり順調に教育活動を進めることができています。

（2）運営委員長挨拶

運動会、子どもの真剣な表情がとてもよかった。大玉送りの復活、赤白の競い合いで盛り上がり、大変よい運動会になった。

（3）学校を支える仕組みの今後について

- ・文科省がやろうとしていることとの整合をとる方向に進んでいく。
- ・地域の方々の力をよりよく生かすことを考えた組織づくりの必要が生じている。（教育委員会の説明より）
- ・来年の4月から本格実施の予定。
- ・学校運営協議会という名称で現在4つ（学校協議会、学校関係者評価委員会、学校支援地域本部、学校運営委員会）の学校を支える仕組みを統合する。
- ・防災、学習補助、引率補助等の各種実行委員会を設置。そこと学校をつなぐ役割が学校支援コーディネーター（週4日程度勤務、職員室勤務、会計年度任用職員、これ以外に有償のコーディネーターを任用することが可能）
- ・学校が行う学校評価を客観的に評価する機能を学校運営協議会が担う。
- ・学校運営協議会の構成人員は6名程度。学校運営のブレーンとしての機能。
- ・本校としてはこれまでの学校関係者評価委員会のノウハウを継承する意味でも評価委員から1名は学校運営協議会のメンバーに入りたいと考えている。
- ・まずは学校運営委員への周知から始め、今後、各委員や保護者に広げ、意見を求めていきたい。

（4）学校の教育活動報告

（安全について）

- ・立川の小学校の事件から。多くの学校が見直しを図っている。本校では防犯カメラの設置や来校者への積極的な声掛けを行っている。また来週火曜日はセーフティ教室を実施。子どもたち自身が不審者への対応を学ぶ。ネットトラブル等に直面した時のSOS出し方教室は7月に6年生が実施する。引き渡し訓練も今後行っていく。また急激な天候変化（雷）による被害も他県で発生している。雷注意報が出たら野外の教育活動を取りやめる等の対応をしていく。熱中症も心配になる季節になった。本校の運動会では暑熱対策として町会のご協力を得て、児童席にテントを張った。

(行事について)

- ・スポーツテストに取り組んでいる。
- ・学校公開を実施中。たくさんの方にお越しいただき、子どもたちを励ましてもらいたい。
- ・プラネタリウム移動教室（４年）に出かけた。教育会館（旧教育センター）。
- ・心の劇場（目黒パーシモンホール）６年生がバスを乗り継いで出掛ける予定。
- ・８月１日から日光林間学園に出かける（６年生）。雷多発地域だけに警戒が必要。特にハイキングの判断は慎重にしていこう。
- ・夏休み開始が７月１９日からと例年より早い。

(教員について)

- ・今年度は異動者のほか新規採用の男性教員が１名入った。
- ・校内での人材育成も進めている。
- ・生活科 総合的な学習の時間の研究を中心に据え、指導力向上を図る。
- ・学び舎間の連携や地域連携に力を入れていく。
- ・教育実習生を受け入れた。研究授業を行った際の活発な意見交換や実習生への指導は大変熱がこもっており素晴らしかった。

(地域連携について)

- ・山崎さんにお世話になり、３年生がお茶摘み、お茶づくり体験を今年も実施できた。
- ・７月１２日（土）夏祭りと町会による盆踊りを実施する。
- ・避難所運営訓練と学校お泊り体験が９月２７日（土）行われる。
- ・三軒茶屋町会が学校で手持ち花火をやらせほしいという要望を受けている。夏休みから外壁改修工事が始まるため、それとの兼ね合いが心配となるが、可能な範囲で地域に施設を有効に活用していただきたいと思います。

４．学校支援地域本部より（山崎）

- ・３年生のお茶づくりが終了した。今年も地域の方にご協力いただいた。お茶づくりのための準備も地域の方にご協力いただいた。子どもたちがやる手もみ等の作業にも保護者や地域に関わっていただいた。とてもスムーズに工程を終了することができた。その日のうちに自分が作ったお茶を自分で持ち帰ることができた。教員も手際よく進めてくれた。素手でお茶をもむ作業をし、お茶のにおいを実感できたこともよかった。
- ・七夕の青竹をもらいにいく、町探検等の活動がある。

(月村) 青竹を提供できる竹林が若林地区にあるのでもし必要ならばお声がけを。

５．その他

- (月村) ・防災ピクニックを６月７日（土）実施する。※本校は学校公開日。保護者の参加も可能。どなたにでもお声がけを。
- ・若林地区の総会があり、防災に力入れているけど防犯にも力を入れてほしいというお声をいただいた。防犯にも力を入れていきたい。
- ・若林サミットを５月２２日に開催。若林小全教員、地域、国士舘大学、教育センターが一堂に会し、学校と地域、大学等の連携について可能性を探った。
- (柏葉) ・コミュニティースクールの仕組みづくりは大田区でも進めている。大田区の状況や世田谷の状況を共有しながら学んでいきたい。
- これまでは学校の教育活動の事後の報告が主だったが、これからは事前の計画から学校運営協議会が関わっていくことがメインとなる。

(４) 今後の運営委員会の日程について

第３回 ９月２６日（金）１０時３０分～ 会議室